

## 平野副大臣「第4回新成長戦略実現会議」記者会見（概要）

1. 日 時：平成22年11月8日（月） 20:00～20:10
2. 場 所：合同庁舎4号館共用408会議室

### ■冒頭発言

今日18時から1時間30分にわたり、新成長戦略実現会議の第4回を開催した。関係大臣として、高木文部科学大臣、細川厚生労働大臣、松本環境大臣、にご出席を頂いた。なお、野田財務大臣と白川委員はご欠席であった。

また、本日は、雇用問題の専門家である大久保幸夫内閣府政策参与にご出席いただき、新卒者雇用についてご意見をいただいた。

議事はまず、包括的経済連携に関する基本方針につき私から報告し、続いて、新卒者雇用とグリーン・イノベーションについて議論を行なった。最後に、新成長戦略実現会議の分科会として医療イノベーション会議を設置することを決定した。

各委員からは様々な活発な意見があった。まず、包括的経済連携に関する基本方針については、米倉委員からは大きな一歩だという評価を頂く一方で、TPP交渉には早期に交渉に参加できるように総理がリーダーシップを取って対応していただきたい、あるいは、桜井委員からも早くルール作りに参加して頂きたいといったような要望が出された。

また、新卒者雇用について、清家委員からは、雇用は生産部門から発生するものであって、生産部門を回復させなければ根本的な解決にならないのではないかとこの基本的・根本的なご指摘があった。一方で、古賀連合会長あるいは岡村委員等からは、ジョブ・カードの廃止についてはセーフティーネットの確保上、問題があるのではないかとということで、雇用対策にとってジョブ・カードは重要だとのことのご指摘を頂いた。

グリーン・イノベーションについては、小宮山理事長から、日本の冷蔵庫は米国製の4分の1しか電力を消費をせず、こういった冷蔵庫の買い替えを進めることで、経済対策にもなるしCo2の削減対策にもなるといったお話があった。米倉経団連会長からは、地球温暖化対策については、当然必要だが、環境税や排出権取引制度の導入については慎重であるべきといったご意見が出された。

以上が今日の新成長戦略実現会議の概要であり、詳細については後ほど公開される議事録をご確認願いたい。

### ■質疑応答

（質問）本日、特段総理の指示はあったか。また、医療イノベーション会議は新成長戦略実現会議の下にできるのか、いつ頃初会合が開かれるのか。

（回答）総理からは、冒頭、ベトナムの報告があり、原子力発電所建設及びレアアース開発の協力について合意がなされたとの報告と、トップセールスをこれからも頑張っていきたいとの話があった。包括的経済連携については、まず農業の問題についてはしっかりと取り組んでいきたいということと、現在交渉中の二国間EPAの交渉を加速化していく話、あるいはTPPについては、情報収集を進めながら対応していく必要があり、国内の環

境整備を早急に進めるとともに関係国との協議を開始したいといった、内容にやや触れる形でご発言があった。新卒者雇用については、新卒者の就職内定状況が厳しいということで、政府としても就職支援に全力で取り組むという考え方を強調すると同時に、経済界においても積極的な取組をお願いしたいという要望を行なった。グリーン・イノベーションについては、環境・エネルギー政策をどのように成長・雇用に結びつけていくかご意見を頂きたい、あるいは、温暖化対策は早急に取り組む必要があるといったご発言があった。医療イノベーション会議については、仙谷官房長官が主催するが、この開催については本日は何も言及されなかったが、いずれ早い段階で立ち上がるのではないかと思う。仙谷官房長官が、特に医療イノベーションについては強い意欲を持っていることは承知している。

(質問) 経済界から、本日の会議でTPPについての前向きな発言があったとのことだが、その場で篠原農水副大臣等から何らかの発言はあったか。

(回答) 特に発言はなかった。

(質問) そうすると、会議場は積極論だけだったということか。

(回答) 積極論というのが何を指すか分からないが、とにかく早くTPP交渉に入って欲しい、あるいはルール作りに参加して欲しいといった発言があり、それを受けた形での政府側からの発言は特になかったと理解している。

(質問) 医療イノベーション会議について、今日の時点で重点項目として今後取り上げていくといった例示がされたのかということと、内閣府の規制制度改革に関する分科会でもライフ・イノベーションWGで新成長戦略実現会議の内容を意識をして進めていると思うが、そちらと関連したり連動したりする部分があるのか教えて頂きたい。

(回答) 今日の段階では、9月7日に閣議決定した「新成長戦略実現会議の開催について」に基づき、医療研究開発の推進、医療分野における新成長戦略に関連する事項の実現に向けて、官民を挙げて強力的に取り組むということで医療イノベーション会議を開催するという以上の説明はなかった。規制制度改革の方でも、ライフ・イノベーションの議論を始めているが、当然のことながら、そちらでの会議と医療イノベーション会議はどこかできちんとつぎ合わせて、両方の検討結果を踏まえて政府としての一定の方向性を出すということで理解している。

以 上